

防災・減災の輪

かがわ自主ぼう連絡協議会
会報 第42号(2010 08 31)
事務局川西地区自主防災会

「～自分の命は自分で守る～(2)」 家庭での防災対策はできていますか

事前の対策と地域の特徴を調べておこう

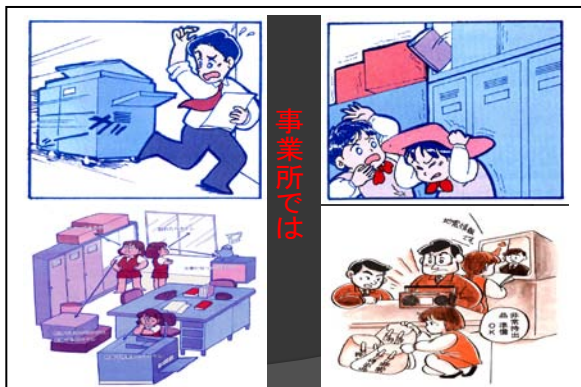
香川県防災士会会長 久保 雅和

毎年、防災の日には防災訓練が開催され、今年も9月1日(水)に坂出市番の州県有地で香川県総合防災訓練が開催されます。防災訓練には多くの行政機関、各種団体、自主防災組織、各種ボランティアが参加します。今年香川県日赤支社に香川県防災士会が中心になって結成した「香川県レスキューサポートバイク赤十字奉仕団(香川RBレドクロス、団員募集中)」がボランティア団体として初めて医薬品の搬送を行うことになりました。

訓練は何回も何回も繰り返すことによっていざという時に冷静に判断ができるよう非常に重要なことです。しかし訓練を何回も繰り返して行っても家庭や個人が事前の対策を行っていないければ大切な家族、地域の人を守ることができません。災害が起きる前に家庭や個人で事前に準備や対策を立てておくことで大きく被害を軽減できるのでないでしょうか。

地震対策

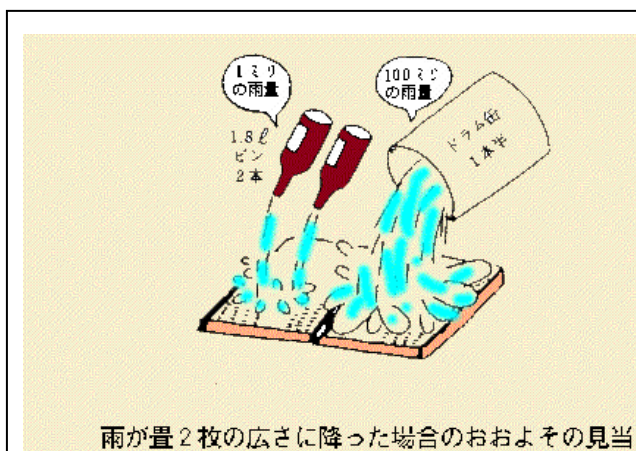
大きな費用のかかる家屋の耐震補強は専門家に依頼するとして、家具の転倒防止については各種の講演会、防災手帳に詳しく固定の方法が記述されていますがまず寝室には箆箆を置かない。設置する場合でも高さは60センチ程度の高さにする。大型テレビ、冷蔵庫は暴走や転倒しないように固定する。食器棚やカップボードはガラスが破損し食器や皿等が落下しないように留め金やテープ張るなど工



夫する。廊下には蛍光テープを張っておく。家庭ができたなら職場では転倒防止の点検、特に暴走を防ぐため複写機、机の固定をしておく。前回も記述しましたが「南海、東南海地震」では緊急地震速報発表されてから香川県に大きな揺れ(震度5弱～6強)の到達までに約30秒前後の時間があると想定されています。30秒しかないか30秒もあるか考えるかで大きく行動が違います。30秒あれば何ができるかを各家庭でシミュレーションしてみることも大切かと思われま

風水害

水害では香川県では平成16年に死傷者を出す多大の被害がありました。早記憶が薄れていませんか。今年も全国でゲリラ豪雨が頻発し多くの死傷者が出ています。1時間80mm、100mmとか報道されていますが1時間1ミリの雨は畳2枚(1坪)に一升瓶2本分が降ったことになります。100mmの雨は畳2枚の上にドラム缶1本半降ったことになります。いかにすごい雨かが想像できるでしょう。ゲリラ豪雨は予測が困難とされていますが今、自分の地域周辺の雨はどのようなになっているのか? 今後は雨はどうなるのか?等の状況の確認は



インターネットで気象庁HP、<http://www.jma.go.jp/jma/index.html>

国土交通省http://www.river.go.jp/03/nrpc0301g_bosai.html

で1時間前から6時間後までの実況と予測、また地上デジタルTVでも実況や6時間後の予測を見ることができます。行政の避難勧告、避難指示を待つのではなく自主的に自分達で行動できるようにすることが大切ではないでしょうか。年に1回、2回の警報発表時に訓練の成果をみるため避難する一つの策と思われれます。防災士会でも天気図の見方やレダー降水予測についてスキルアップ研修を実施しています。また「防災・減災の輪40号」で紹介されているように香川県でも平成22年5月27日から市町村ごとに注・警報が発表され精度の充実が図られています。



各地で自主防災組織が「防災マップ作り」に取り組んで大きな成果や防災組織の拡充、発展につながっています。防災士会もお手伝いをさせていただいていますが現在は番地が表示、昔の字名がすっぽり抜けています。字名はなぜそのような名前がついてのか?少し調べてみると面白いものです。河、滝、龍、泥、谷等の字名は過去に大きな水害のあったところと考えられます。また現地調査で「土石流危険渓流」等の表示のあるところは特に注意が必要で地域の特徴を調べておきましょう。

各地域の防災リーダーは率先避難者になり近所に声かけして最初に避難者になる行動を起すよう心がけましょう。「非常持ち出し品」の確認とすぐに取り出せる保管場所決めて家族同士で連絡方法の確認しておきましょう。

【お知らせ】

平成 22 年度香川大学公開講座(防災士養成講座)

「地域防災リーダー養成講座（短期コース）」受講生募集要項

1. 講座の主旨

防災に関する正しい知識と技能を持ち、災害時には自助、共助の中心として活躍できる防災士を養成する講座です。本講座を履修すると、NPO 法人日本防災士機構の防災士資格取得試験の受験資格を得ることができます。

2. 会 場 香川大学社会連携・知的財産センター3階セミナー室

(香川大学林町工学部キャンパス内)

注：受講者数により会場を変更することがあります。）

3. 定 員 40名程度

4. 受講料 10,000円(高松市在住の方は市から補助が出ます。)

※受講料の他、「教本代金として2,000円」が別途必要です。

5. 募集期間 平成22年8月2日(月)～平成22年9月10日(金)

6. 講座日程

9月18日、10月9日、11月20日、12月18日、1月29日の各土曜日

1時限：10:00-11:00、2時限：11:10-12:10、3時限：13:00-14:00

4時限：14:10-15:10、5時限：15:20-16:20、6時限：16:30-17:30

問合せ先

受講申込書送付先：香川大学危機管理研究センター

住所：〒761-0396 高松市林町 2217-20(林町キャンパス)

TEL : 087-864-2544 F A X 087-864-2549

E-mail: kikikanri@jim.ao.kagawa-u.ac.jp

「自主防災会結成」から「防災マイ・マップ」完成まで

高松市二番丁地区自主防災組織連絡協議会 会長 川口 秀明

二番丁地区の自主防災会は、平成7年の阪神淡路大震災から2年後に、男木島・女木島両地区に続いて3番目に二番丁地区扇町愛扇自治会より扇町愛扇自主防災会を結成したのが始まりです。その翌年には、高松市主催総合防災訓練の会場として二番丁地区に要請があったのを契機に、その他の自治会に呼びかけ15の自主防災会が結成され、二番丁地区自主防災組織連絡協議会ができました。

二番丁地区は、神社仏閣が多く歴史が感じられる町とサンポートなど昭和40年頃より埋め立ててできた新しい町が共存した地域で、人口約1万人、世帯数は約4,500です。

平成16年8月30日に発生した台風16号の高潮被害にあうまでは、この近年比較的災害の少ない地域と住民の大半が思っていました。しかし、この高潮災害では死者1名、床上浸水500世帯という被害にあい、住民の防災への関心が高まり、連合自治会をはじめ各種団体と協議のうえ、平成18年10月1日に地区防災訓練を実施することになりました。

この防災訓練は、香川県防災局の協力により県下小中学校では初めての防災ヘリによる救出訓練や日赤奉仕団など各種団体の協力による炊き出し訓練も実施し、住民700名の参加がありました。その後も毎年10月に実施しています。今年も新しくなった新番丁小学校で10月31日に実施が予定されています。(写真1：防災訓練炊き出しの様子)

また一方、防災対策として防災マップの作成が、香川大学工学部・香川大学危機管理センター、香川マルチメディアビジネスアフォーラムの協力のもと平成20年6月より始まり、住民参加の現地調査やワークショップの実施により、平成22年3月に完成しました。それを基に、住民が書き込みのできる「防災マイ・マップ」を作成しこの8月には各世帯に配布しました。(写真2：ワークショップ 写真3：現地調査の様子)

これらの防災活動により住民の防災意識が高まり、防災会結成率も75%になったが、今後も100%めざして活動を続けていこうと思っています。

しかし、このような大掛かりな活動とともに日々の地道な活動も大切な活動と思っています。現在小生は、戦災をまぬがれた関係で道幅の狭い、住宅密集地で消防車両が通行不可能な地域での火災発生時の初期消火のため、バイクに消火用具を積み、「少しでも早く」「少しでも被害が少ないうちに」と願って活動しています。(写真4：川口氏のバイクの様子)



写真1：炊き出し訓練の様子



写真2：ワークショップの様子



写真3：現地調査の様子



写真4：川口氏のバイク消防用具

かがわ自主ぼうの事務局を担当している「川西地区自主防災会」最近の活動を紹介します。

1. 城辰小学校「ぼうさい探検隊」への支援活動実施

8月25日(水)8時20分小学校体育館に集合、探検活動の事前学習として、香川大学工学部長谷川教授によって、探検活動の要点等について研修、その後ブロック診断については、建築ブロック協会の支部長さんから説明を受け、通学路を11ブロックに分別して探検活動を行った。

＜この取り組みは8月26日付けの四国新聞にも紹介された。＞



2. 丸亀市立南中学校平成22年度防災訓練を実施

8月26日(木)野球部をはじめ、クラブ活動を行っている生徒100名が参加。「炊き出し訓練」以外は、ローテーション方式で、① 土のう作成・積み方 ② 被災者救出(ロープ投げ) ③ バケツリレーによる「水」の搬送 ④ AED・心臓マッサージによる心肺蘇生 ⑤ 担架組立搬送 と、猛暑の中訓練を実施。また訓練に先立ち「何故今防災なのか」を映像を使って説明させていただいた。



編集後記

今回の「防災減災の輪」は、香川県防災士会会長 久保様に原稿をお願いし、「自分の命は自分で守る～②」を書いていただきました。ありがとうございました。